

溝上慎一の教育論(動画チャンネル) No396

第6回桐蔭学園溝上研究室セミナーのご案内
負担があるからこそ得るものが多い。対面、ネットワーク作り
を重視したセミナー 6月13日(土)～14日(日) @伊豆高原

溝上 慎一 Shinichi Mizokami, Ph.D.

学校法人桐蔭学園 理事長
桐蔭横浜大学 教授

<https://smizok.com/>
E-mail mizokami@toin.ac.jp

【プロフィール】1970年生まれ。大阪府立茨木高校卒業。神戸大学教育学部卒業、1996年京都大学助手、講師、准教授、2014年教授を経て2018年に桐蔭学園へ。桐蔭横浜大学学長(2020-2021年)。京都大学博士(教育学)。
*詳しくはスライド最後をご覧ください

※本動画チャンネルは溝上が個人的に作成・提供するものです。
※公益財団法人電通育英会の研究委託を受けて行われています。

※本動画では字幕を付けていませんので、必要な方は「設定」で「字幕オン」にしてご利用ください。



第3回溝上研究室セミナー@伊豆高原（2025年6月）

第4回セミナー「主体性総論」@横浜市青葉台（2025年12月）





第5回溝上研究室セミナー@十桐蔭小公開研究会（2026年2月）

守り杖

作った理由

は最近ニュースを見ていて殺人事件で高齢者の人たちがたくさん亡くなっているから作りました。

これで老人の亡くなる確率が減る！

欠点

使った材料が少なくていいので、簡単に作れます。

守り杖について
家に定着しない原因
は、使い方がわからないから
です。

注意

普段使っていて壊らしてしまつたら、修理が難しいので、修理が難しいです。

この守り杖は、高齢者の安全のために作りました。



第6回桐蔭学園溝上研究室セミナーのご案内

<目的>

- これから学校・大学はどうなる？
- 現代社会を生きる子ども・生徒学生の資質・能力をどう育てる？
- 自分の授業や活動、考えていることを発表してコメントがほしい
- 全国の教育関係者と交流して自分を高めたい
- 次期学習指導要領改訂に向けた最新の情報が欲しい

などに関心のある方

<対象>

幼稚園、小学校～大学までの学校教育に関わる教職員、教育関係者が主な対象ですが、内容に関心のある方であれば、テーマに詳しくない方、若いキャリアの方、教育産業、企業等の方、どなたでもご参加いただけます。

溝上研究室セミナーでとても大切にしていること

- すぐに役立つ情報・知識だけではなく、体系的に、概念的にも学ぶこと
- 対話すること
- 学校種を超えて、様々な属性や背景をもつ他の教育関係者とネットワーキングすること



<日時>

2025年6月13（土）14:15 伊豆高原駅に集合～（施設のバスで移動）
6月14日（日）15:00伊豆高原駅で解散

※①のプレ講義に参加できる方は、12:10に伊豆高原駅に集合です。施設までは同様にバスで移動します。①に参加できない方は、後日動画で配信し、視聴できるように致します。

※授業やお仕事の関係で14:15集合に間に合わない方は個別に対応します。問題ありません。

<プログラム>

※すべてアクティブラーニング形式で行います

- ① Day1 13:00-15:00 (プレ講義 [新企画])
溝上 慎一 (桐蔭学園理事長・桐蔭横浜大学教授)
「自己の基礎理論—自己評価、自己決定、自己調整、主体性等の「自己」論のそもそもを学ぶ」



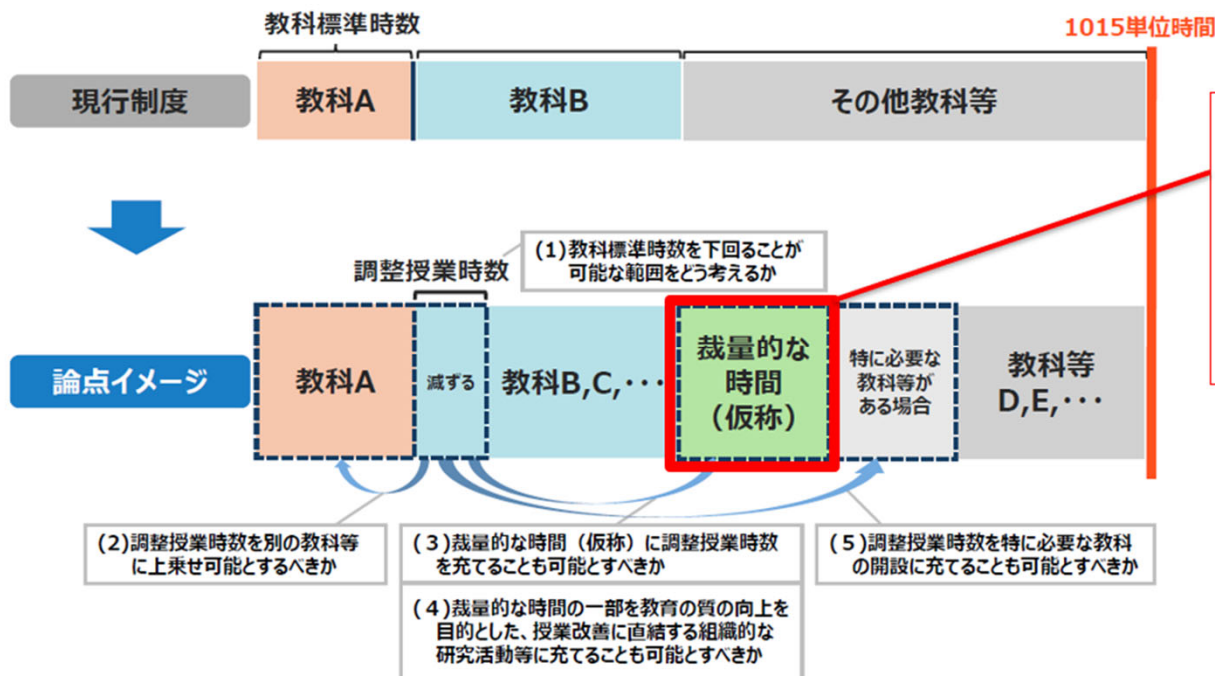
※自己のもつ「強意」「再帰」の機能について概説します。一見難しそうですが、専門外の人でもわかるようにお話しします。この2つが分かるだけでだいたいの「自己～」の言葉遣いは理解できます。一般の講演会ではなかなかできない大学での講義をイメージしてお話しします。教育の話は最小限です。



② Day 2 午前（講演1）

山本朝彦（横浜国立大学大学院教授、教育学部附属横浜小学校校長）

「柔軟な教育課程（裁量的な時間・調整授業時数制度）の取り組みに向けて」



・子どもにとっての豊かな学びの時間
・教師にとっての教材研究、研修等の時間

次期学習指導要領改訂に向けた中教審教育課程企画特別部会委員、総則・評価特別部会委員の立場から本テーマについて概説し、その上でサキドリ研究校として推進する実践的な成果、課題をお話しいたします。

③ Day2 午前（講演2）

丸橋 覚（共愛学園前橋国際大学 教授・学長特命補佐[高大接続担当]）

「変革をもたらす新時代の「探究」育成のプラットフォーム —「ぐんま探究コンソーシアム」の挑戦—



地域・社会に開かれた探究は、一学校、一教員の努力だけで取り組めないことが徐々に分かってきています。地域の組織が中核的ハブとなって学校を組織的に支援する取り組みが全国で広がってきています。これはその先進事例です。中学校・高等学校・大学・企業・行政が連携しながら、ぐんまの子どもたちの探究的な学びを支えるプラットフォームとして推進されています。



GTC

ぐんま探究コンソーシアム
gunma tankyu consortium



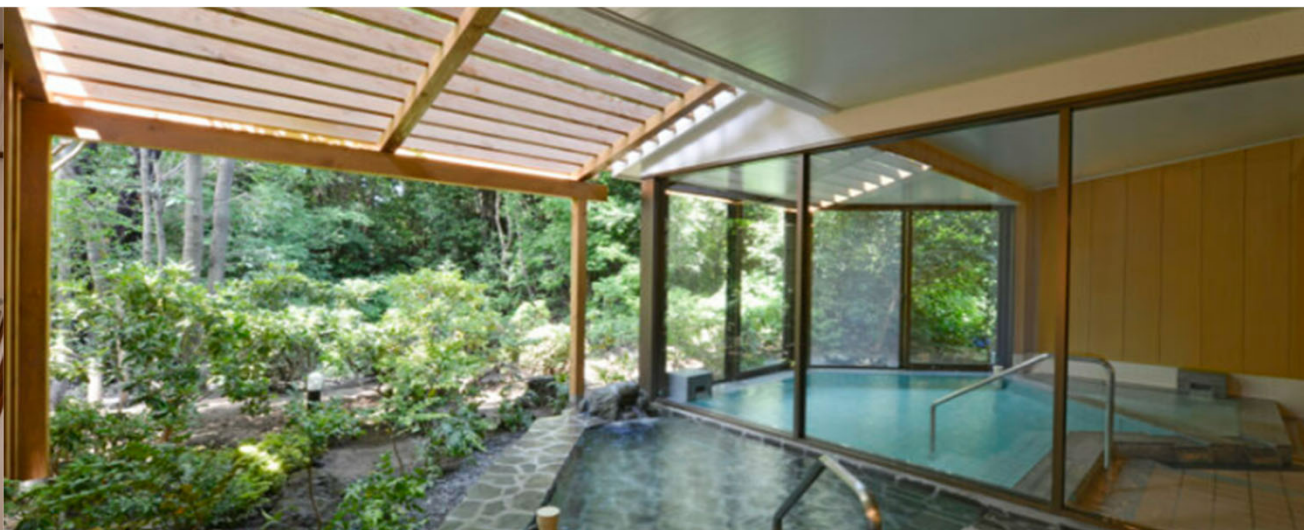
④ Day 1 夕方 参加者（4名）の活動報告（新企画）

参加者の中から4名募集します。15分の発表から参加者同士で議論を深めます。

⑤ その他

すべてのプログラムは溝上がモデレーターを務めます。関連する学術的な理論や文科省施策についての情報は随時補足解説をします。

- 場所：ルネッサ赤沢
(静岡県) 伊豆急行線・伊豆高原駅の近く
※海と森が向かい合う豊かな自然につつまれた
ロケーションと森にたたずむコテージ
- 参加費：25,000円 (参加費・宿泊費 [3食の食事代込み])
※3人で1コテージに宿泊してもらいます。きれいでけっこう広いです。
※ご自宅から現地までの交通費等は個人負担です。
※領収書が必要な方は個別に対応して出します。



ご視聴有難うございました
チャンネル登録もお願いします

質問、コメントは個人メールで受け付けます。
E-mail mizokami@toin.ac.jp

- お名前、ご所属

※可能なら専門分野や教科、職位なども教えてください。回答の助けになります。
なお、動画内では個人のお名前等は出しません。

- 質問、コメント等

